

# 感染実験飼育室 利用手続き

## 1. 目的

本手続きは、感染実験飼育室を複数の研究者が共同利用するにあたり、毒物毒薬の取扱いや感染事故、感染性病原体のコンタミネーション流出事故等のリスクを最小化し、安全かつ効率的に運用するための共通ルールを定めるものである。

## 2. 対象

- ・ 毒物毒薬(例: 発がん物質、抗がん薬 等)を使用する動物実験
- ・ 感染性病原体を使用する動物実験

## 3. 取扱い可能な病原体

空気感染・エアロゾル感染を前提としないクラス 2 (BSL-2) までの感染性病原体(細菌、ウイルス、リケッチア、クラミジア、真菌、寄生虫)

※ 感染実験飼育室で取扱いが可能な病原体かどうか、施設スタッフと事前協議すること。

## 4. 利用資格・申請

- ・ 感染実験飼育室利用申請により許可を得た者のみ利用が可能である。
- ・ 利用が許可された者は、施設スタッフによる現地での動線・設備機器の指導(オリエンテーション)を受けること。
- ・ 利用期間・実験手順については、必ず事前に施設スタッフと協議すること。

## 5. 利用期間

- ・ 研究室単位で原則 6 週間以内とする。
- ・ 利用期間や実験工程は、必ず事前に施設スタッフと協議すること。

## 6. 個人防護具(PPE)

- ・ ディスポーザブルつなぎ・シューズカバーに利用者氏名と使用回数を明記すること。  
(オートクレーブ滅菌で最大 5 回まで再利用するため)
- ・ 更衣室にて、利用者氏名と使用回数を明記した以下を着用すること。  
ディスポーザブルつなぎ・シューズカバー・キャップ・マスク・グローブ(使い捨て)
- ・ 使用済みのキャップ・マスク・グローブは、専用回収容器に入れること(施設が回収・処理)
- ・ 5 回を超えたディスポーザブルつなぎ・シューズカバーは、廃棄物用オートクレーブバッグに入れて処理すること。

## 7. 入退室手順(前室・更衣室・後室)

- (1) 前室で専用スリッパに履き替える。
- (2) 更衣室で PPE を着用して入室する。

- (3) 入室後は作業開始前に、手袋およびオートクレーブのハンドルをアルコールで滅菌し、前回オートクレーブ処理済みの物品を取り出して後室へ運ぶ。
- (4) 作業終了後、ディスポーザブルつなぎは再利用オートクレーブバッグへ、キャップ・グローブ・マスクは廃棄物用オートクレーブバッグへ入れ、オートクレーブ処理する。
- (5) 専用スリッパ、手指、出口のドアノブをアルコール滅菌して退室する。

## 8. 実験操作と設備の使用

- ・ 実験動物への実験処置は、エアロゾル発生の可能性がある操作を中心に、安全キャビネット内で行う。
- ・ 作業後は作業台・安全キャビネット等の接触面を消毒用スプレーで噴霧し、ペーパータオルで拭き取る。安全キャビネットは拭き取り後に UV 照射を行う。

## 9. オートクレーブ対象物の分類と処理

以下は代表例であり、個々の実験計画に応じて追加・調整すること。

区分	具体例	処理方法	備考
ケージ類	使用済みケージ・床敷・給水瓶	ケージ用オートクレーブバッグに入れオートクレーブ	
廃棄物	ペーパータオル、使い捨て器具等	廃棄物用オートクレーブバッグ(テープに「廃棄物」と明記)でオートクレーブ	
実験動物	実験動物の屍体	安全キャビネット内で屍体用オートクレーブバッグに封入し、オートクレーブ	テープに研究室名を記載
鋭利物・ガラス	注射針、ガラスごみ	滅菌缶に回収しオートクレーブ	
PPE(再利用)	ディスポーザブルつなぎ	再利用用オートクレーブバッグでオートクレーブ	最大 5 回再利用
PPE(廃棄)	キャップ、マスク、グローブ	廃棄物用オートクレーブバッグに入れてオートクレーブ	

## 10. 感染実験飼育室外への搬出

- ・ 未滅菌のまま検体(血液等)を感染実験飼育室外に搬出する場合は、サンプルの入った密封容器の周りを消毒用アルコール、1%以上の次亜塩素酸溶液等で完全に滅菌処理を行ったのちに、感染動物実験室外に搬出する。
- ・ 一旦感染実験飼育室外に搬出された密封容器は病態モデル先端研究施設内(感染実験飼育室を除く)で開封することは出来ない。

## 11. 清掃・消毒

- ・ 使用後に汚染の可能性がある箇所は退室前に必ず清掃する。
- ・ 清掃時に回収したごみは、廃棄物用オートクレーブバッグまたは滅菌缶に入れ、オートクレーブ処理する。

## 12. 利用料金

1 ケージあたり 1,000 円／1 週間 (1 週間未満は繰り上げ)。

## 13. 連絡・相談

- ・ 利用前に入念な打ち合わせを行い、緊急時の連絡先を確保すること。
  - ・ 運用上の不明点や例外対応が必要な場合は、事前に施設スタッフおよび病態モデル部門へ相談すること。
-

## 付録 A: 入退室チェックリスト

- 前室で専用スリッパに履き替えた
- 更衣室で PPE 一式を着用した(つなぎ/シューズカバー/キャップ/マスク/グローブ)
- 作業開始前に手袋とオートクレーブ取手をアルコール消毒した
- オートクレーブ処理済み物品を後室へ搬出した
- 作業後、接触面を消毒・拭き取り、キャビネットを UV 照射した
- PPE を適切なバッグに投入した(再利用/廃棄)
- 専用スリッパ・手指・ドアノブを消毒した

## 付録 B: オリエンテーション受講記録(提出用テンプレート)

利用者: \_\_\_\_\_ 研究室: \_\_\_\_\_

受講日: \_\_\_\_\_ 指導担当: \_\_\_\_\_

確認事項: 動線/設備機器/緊急対応/廃棄物処理 確認済